

プレスリリース

クレディ・アグリコル CIB、クレディ・アグリコル S.A.のサムライ債を引受・販売

2018年6月1日、モンルージュ — クレディ・アグリコルコーポレート・インベストメント・バンク(「クレディ・アグリコル CIB」又は「当社」)は、優先シニア債 165 億円(およそ 1 億 3,000 万ユーロ相当)及び非優先シニア債 705 億円(およそ 5 億 5,600 万ユーロ相当)の複数トランシェで構成されるクレディ・アグリコル S.A.発行のサムライ債の共同主幹事を務めました事をここにご報告致します。今回の債券発行は、日本国内の機関投資家層をターゲットとしたものです。

サムライ債は、海外の発行体によって日本国内で発行される国内公募債です。日本法に準拠して円建てにて発行されるサムライ債は、大手機関投資家から地域金融機関、その他中小機関投資家まで、日本国内の幅広い投資家層から、伝統的に高い需要を集めております。サムライ債発行のプラットフォームを確立することにより、クレディ・アグリコル S.A.は、その中長期資金の安定的で継続した調達手段を確保して参りました。クレディ・アグリコル S.A.は、今回のサムライ債発行においても、東京及び複数の地域における機関投資家とミーティングを重ねてきており、今回の成功は、長年に亘り築かれた日本の投資家層との良好な関係の結果である、と言えます。

クレディ・アグリコル証券会社 東京支店の藤崎 順也(シンジケート部長)は、「4 つのトランシェから成る今回の発行規模は 870 億円(およそ 6 億 8,600 万ユーロ)に達し、欧州系銀行が単独で今年発行するサムライ債では最大規模の 1 つに数えられます。クレディ・アグリコル S.A.は、2017 年にも欧州の金融機関による最大規模のサムライ債を発行しており、サムライ債・オブ・ザ・イヤー賞を『J-MONEY』誌、株式会社キャピタル・アイ、『日経ヴェリタス』誌から受賞しています。」

クレディ・アグリコル CIB のベンジャミン・ランバーク(アジア・クレジット市場責任者)は、「難しい市場環境ではありましたが、クレディ・アグリコル S.A.は、日本における幅広い投資家層の関心を再び惹き付けることができました。これは、当グループの信用力の高さと強靭性を示すものと考えております。」と付け加えました。

クレディ・アグリコル証券会社 東京支店の長廣 牧人(副支店長)は、「今回の成功要因には、発行体であるクレディ・アグリコル S.A.が長期に亘り日本の市場にコミットしてきた事が挙げられます。実に、クレディ・アグリコル S.A.が、定期的なサムライ債の発行を決定、開始してから、今回にて 6 年連続の案件となりました。優先シニア債と非優先シニア債という 2 つのトランシェで構成される今回のサムライ債は、幅広い機関投資家層の多様なニーズに応えていたと言え、在京の機関投資家層に加え、多くの地域金融機関層からの参加も頂き、総じて非常に良い御評価を頂きました。」と締めくくりました。

お問い合わせ先は以下の通りです。

クレディ・アグリコル CIB 広報担当

Lilian Kung — シニア・マネジャー (在香港 アジア太平洋地域担当)

lilian.kung@ca-cib.com

Florian Turgeon — コーポレート プランニング部

info_ginko@ca-cib.com

クレディ・アグリコル・コーポレート・アンド・インベストメント・バンク（「クレディ・アグリコル CIB」）について

クレディ・アグリコル CIB は、ティア 1 資本ベースで世界第 13 位（『バンカー』誌 2017 年 7 月号）となるクレディ・アグリコル・グループの法人営業及び投資銀行部門であり、以下の 6 部門商品を包括的に顧客に提供しています。

- 顧客カバレッジ及び国際ネットワーク
- グローバル投資銀行業務
- ストラクチャード・ファイナンス
- グローバル・マーケット
- ローン・シンジケーション
- 貿易金融及びトランザクション・バンキング

クレディ・アグリコル CIB は、そのグローバルなネットワークを通じ、ヨーロッパ、米州、アジア太平洋及び中東の主要各国における顧客サポートを行っています。

更なる情報は当社のホームページ（www.ca-cib.com）をご覧ください。